



2009年3月期 決算説明会

2009年6月2日

リバーエレクトック株式会社

(証券コード：6666 JASDAQ)

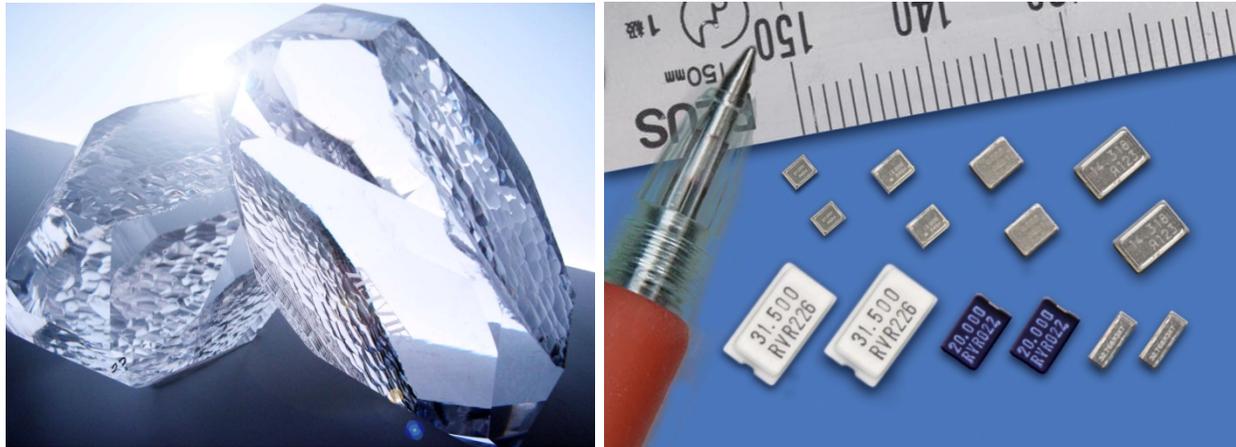
2009年3月期 決算概要

2010年3月期 通期業績予想

通期業績予想の背景及び取組み方針

(ご参考) 会社概要・事業の特徴

2009年3月期 決算概要



- ◆ **売上高は5,884百万円（前年同期比36.6%減）と大幅な減収**
 - ◇ 全セグメントにおいて減収となり、売上高の9割以上を占める水晶製品では、前年同期比36.5%減

- ◆ **利益はコスト削減を図るも、売上高減少の影響が大きく損失を計上**
 - ◇ 営業損失は795百万円（前年同期は992百万円の営業利益）
 - ⇒ 売上原価率は前年同期比19.2ポイント上昇
 - ⇒ 販管費は労務費を中心に減少（前年同期比19.4%減）するも、売上高販管費率は前年同期比5.0ポイント上昇

 - ◇ 経常損失は794百万円（前年同期は998百万円の経常利益）

 - ◇ 当期純損失は1,425百万円（前年同期は588百万円の当期純利益）
 - ⇒ 固定資産除却損、減損損失等397百万円の特別損失を計上
 - ⇒ 繰延税金資産の取崩しにより243百万円の法人税等調整額を計上

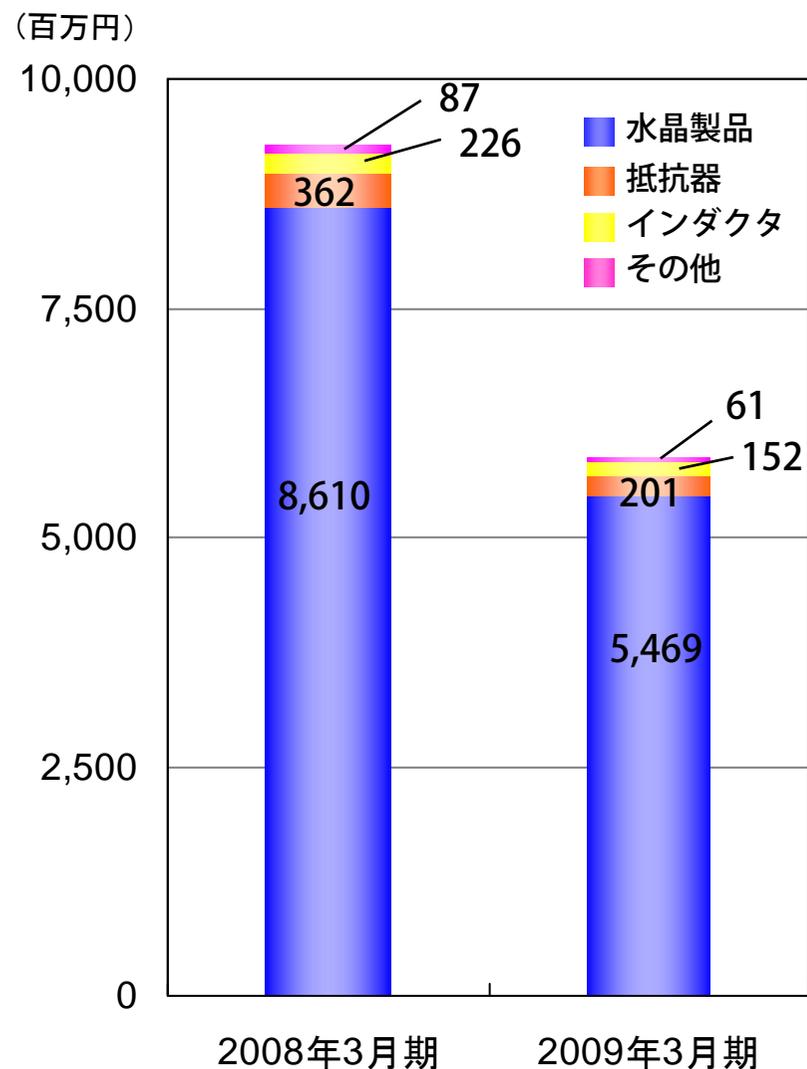
(単位：百万円)

	前年同期		2009年3月期 実績			
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期 増減額	前年同期 増減比
売上高	9,287	100.0%	5,884	100.0%	▲3,402	▲36.6%
売上総利益	2,695	29.0%	577	9.8%	▲2,118	▲78.6%
営業利益 (損失)	992	10.7%	▲795	▲13.5%	▲1,787	—
経常利益 (損失)	998	10.8%	▲794	▲13.5%	▲1,793	—
当期純利益 (損失)	588	6.3%	▲1,425	▲24.2%	▲2,013	—
E P S	78.51円		▲190.67円		—	—

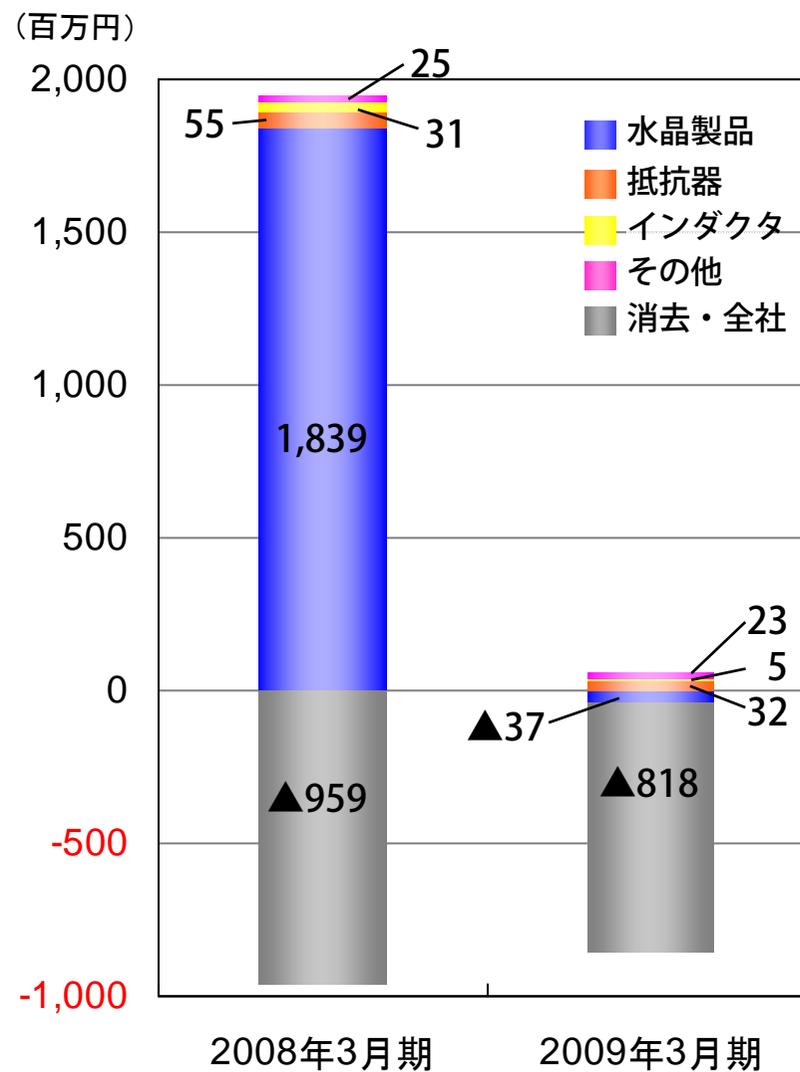
(単位：百万円)

	前回発表予想 (08/11/7)	2009年3月期 実績	差 額
特別利益合計	0	1	1
固定資産除却損	0	158	157
減損損失	—	87	87
退職特別加算金	—	34	34
貸倒引当金繰入額	87	69	▲18
たな卸資産評価損	42	42	0
投資有価証券評価損・その他	0	6	5
特別損失合計	130	397	266
特別損益	▲130	▲397	▲264

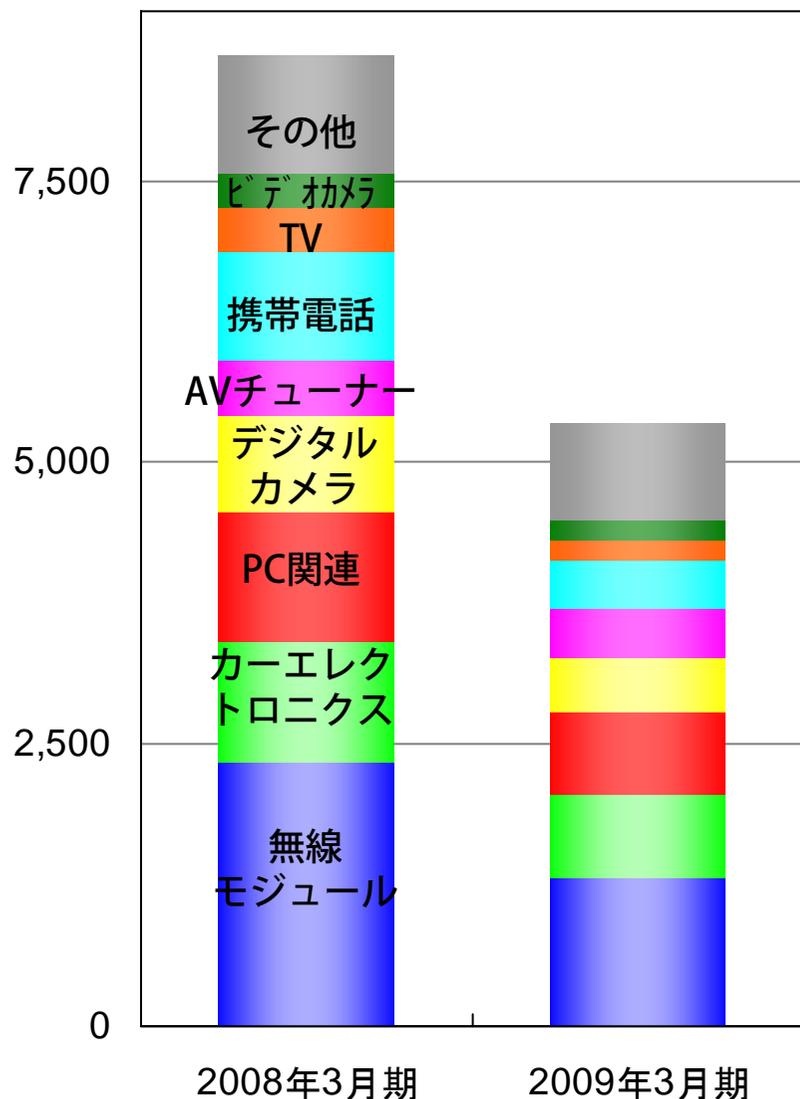
売上高



営業利益



(百万円)

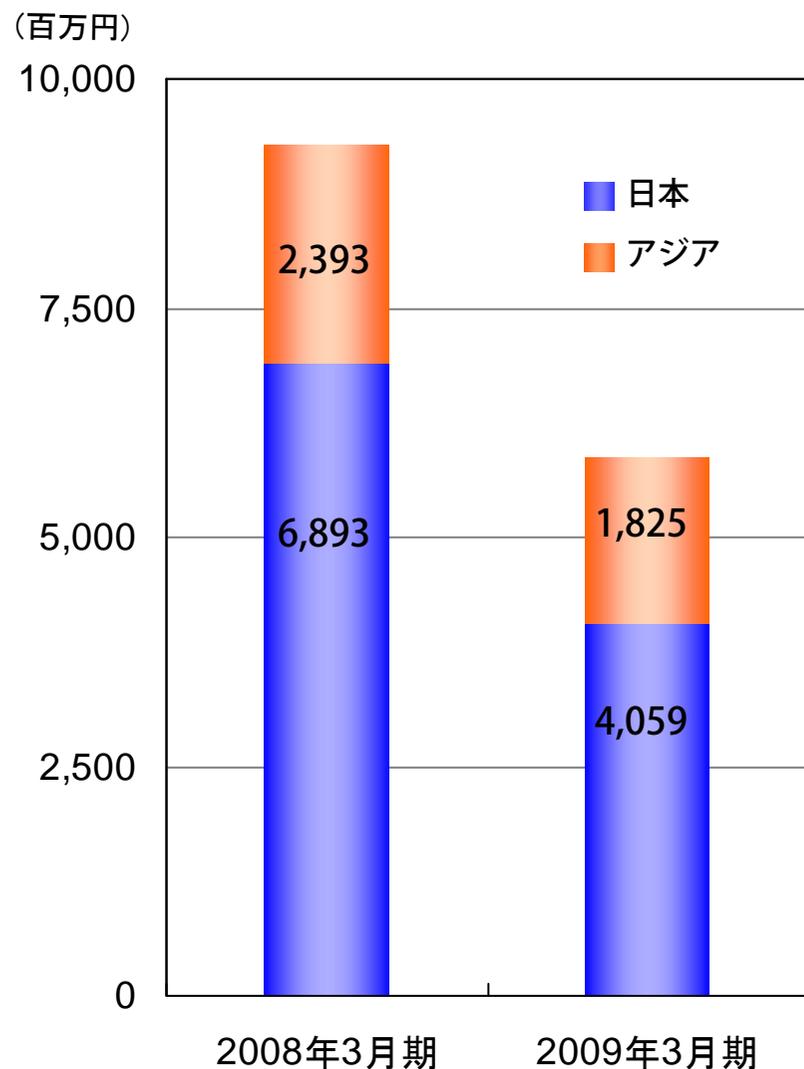


- 無線モジュールは価格下落による影響が大きい
- 携帯電話、デジタルカメラは受注減少による影響が大きい
- PC関連は為替による影響も大きい

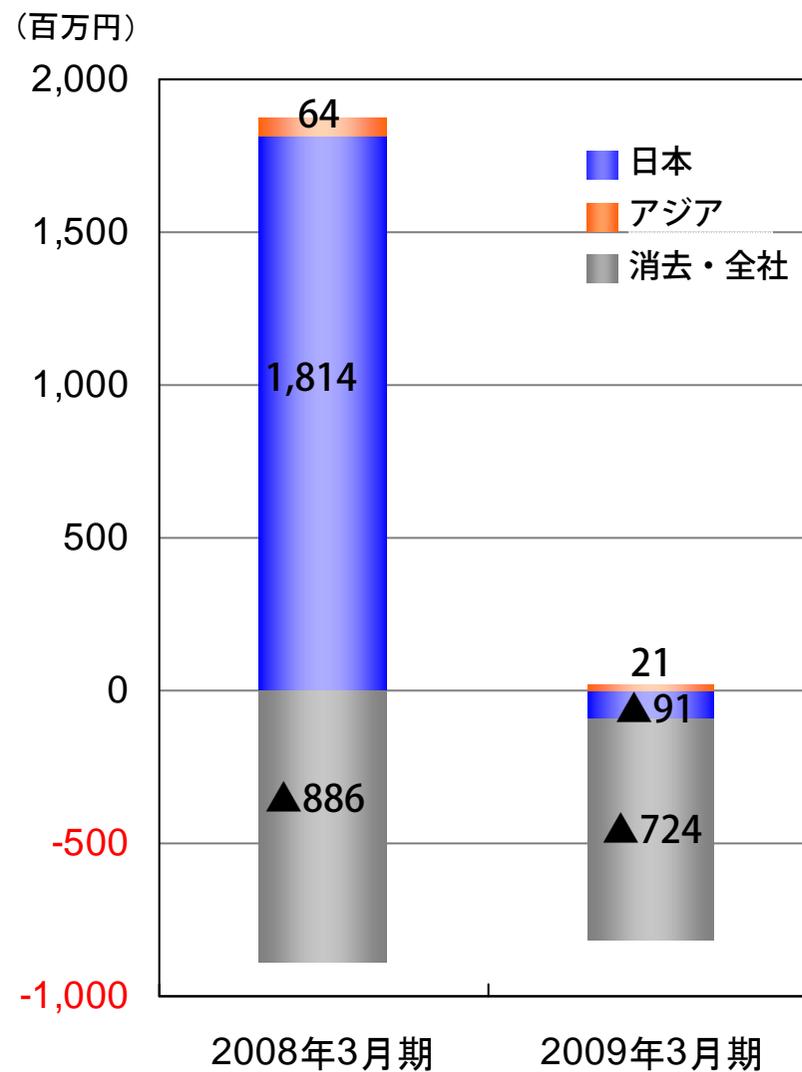
売上高構成比

	2008年3月期	2009年3月期
無線モジュール	27.2%	24.0%
カーエレクトロニクス	12.4%	13.7%
PC・周辺機器	13.4%	13.4%
デジタルカメラ	9.9%	8.8%
AVチューナー	5.7%	7.9%
携帯電話	11.3%	7.8%
フラットTV	4.5%	5.7%
デジタルビデオカメラ	3.5%	3.5%
その他	12.1%	15.2%

売上高



営業利益



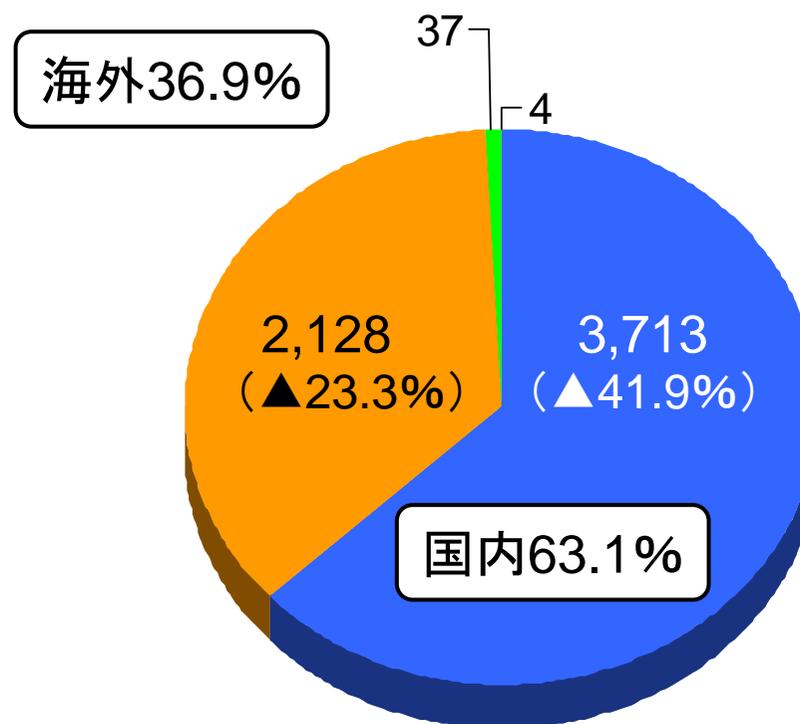
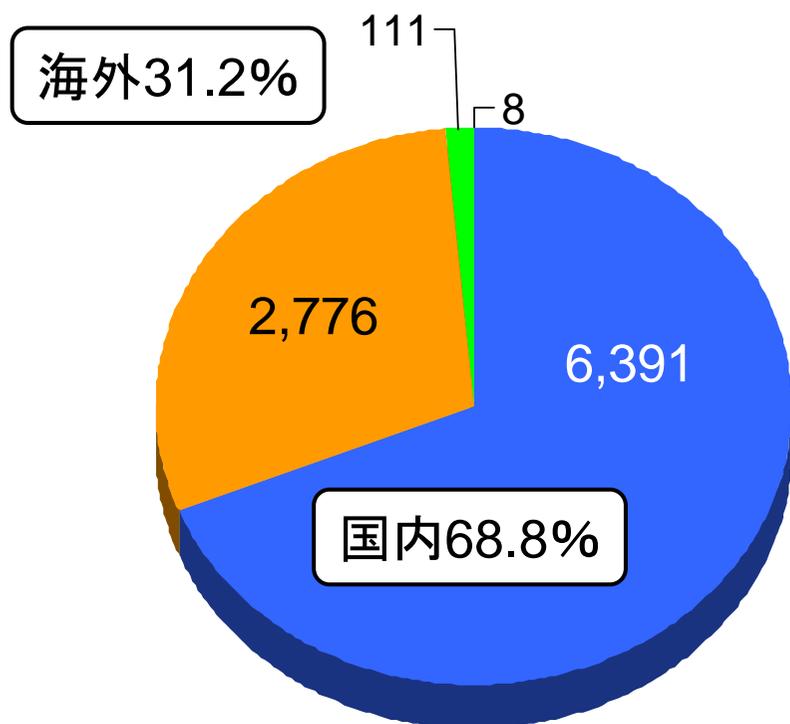
単位:百万円

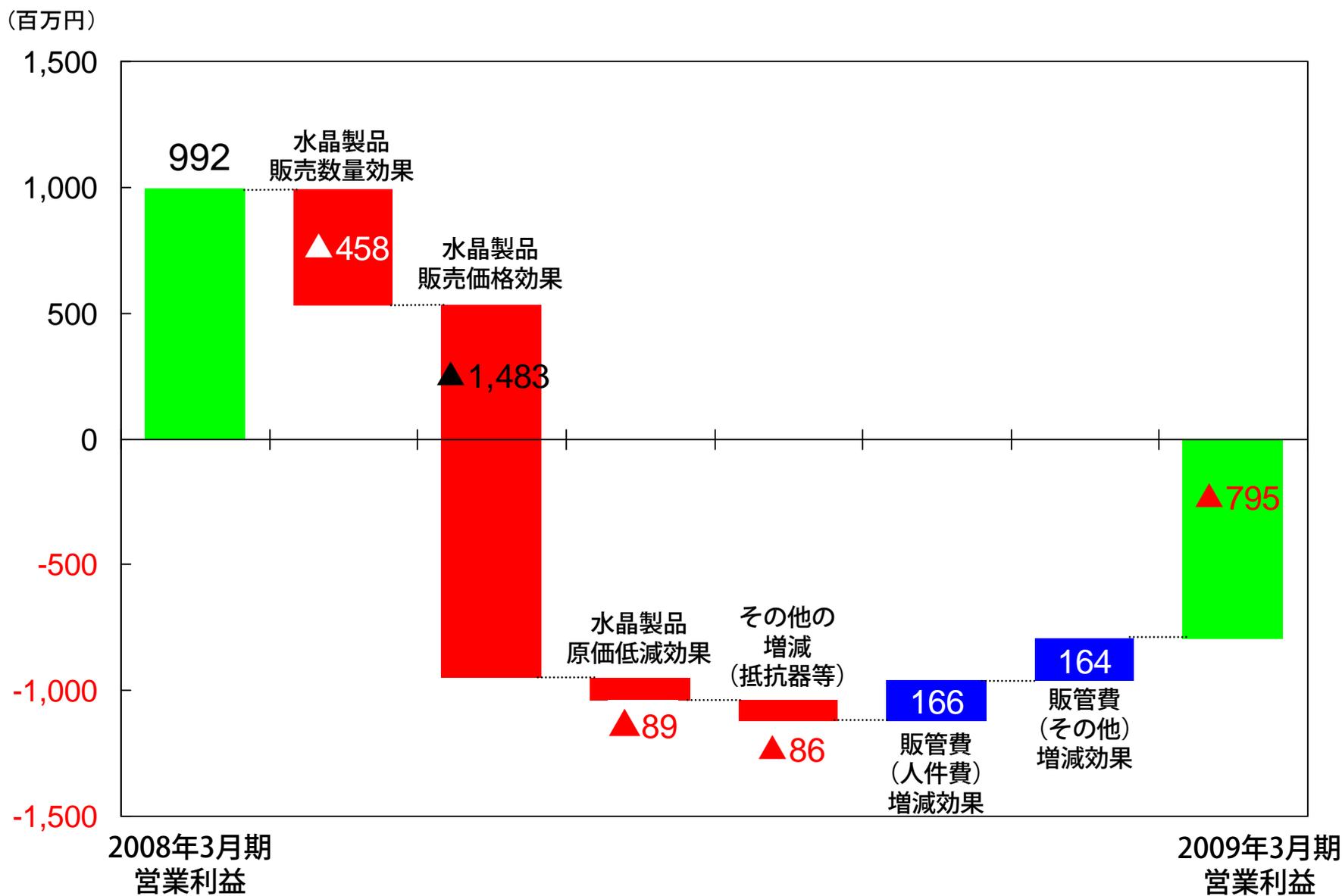
2008年3月期

2009年3月期

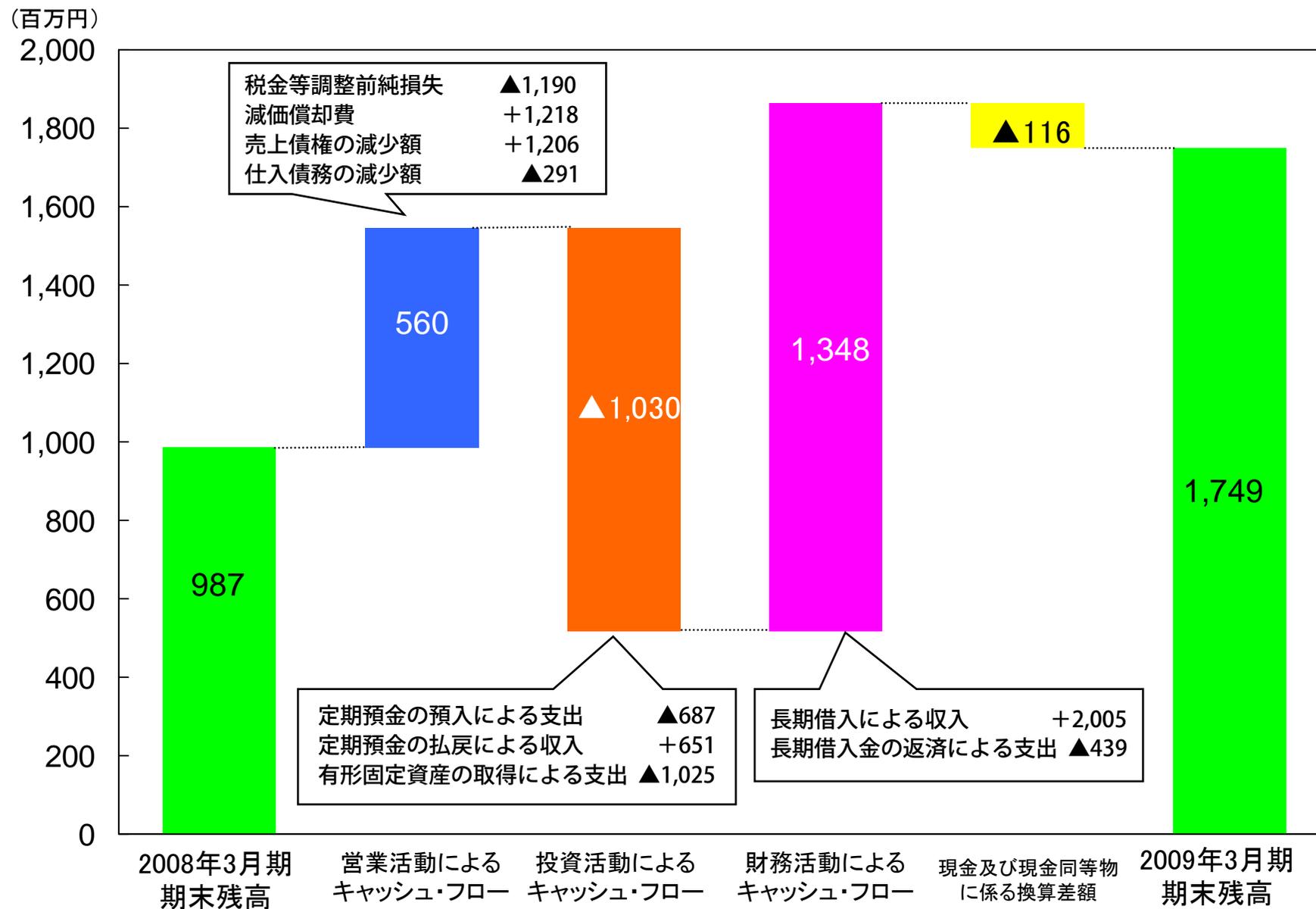
■ 日本 ■ アジア ■ 北米 ■ その他

■ 日本 ■ アジア ■ 北米 ■ その他

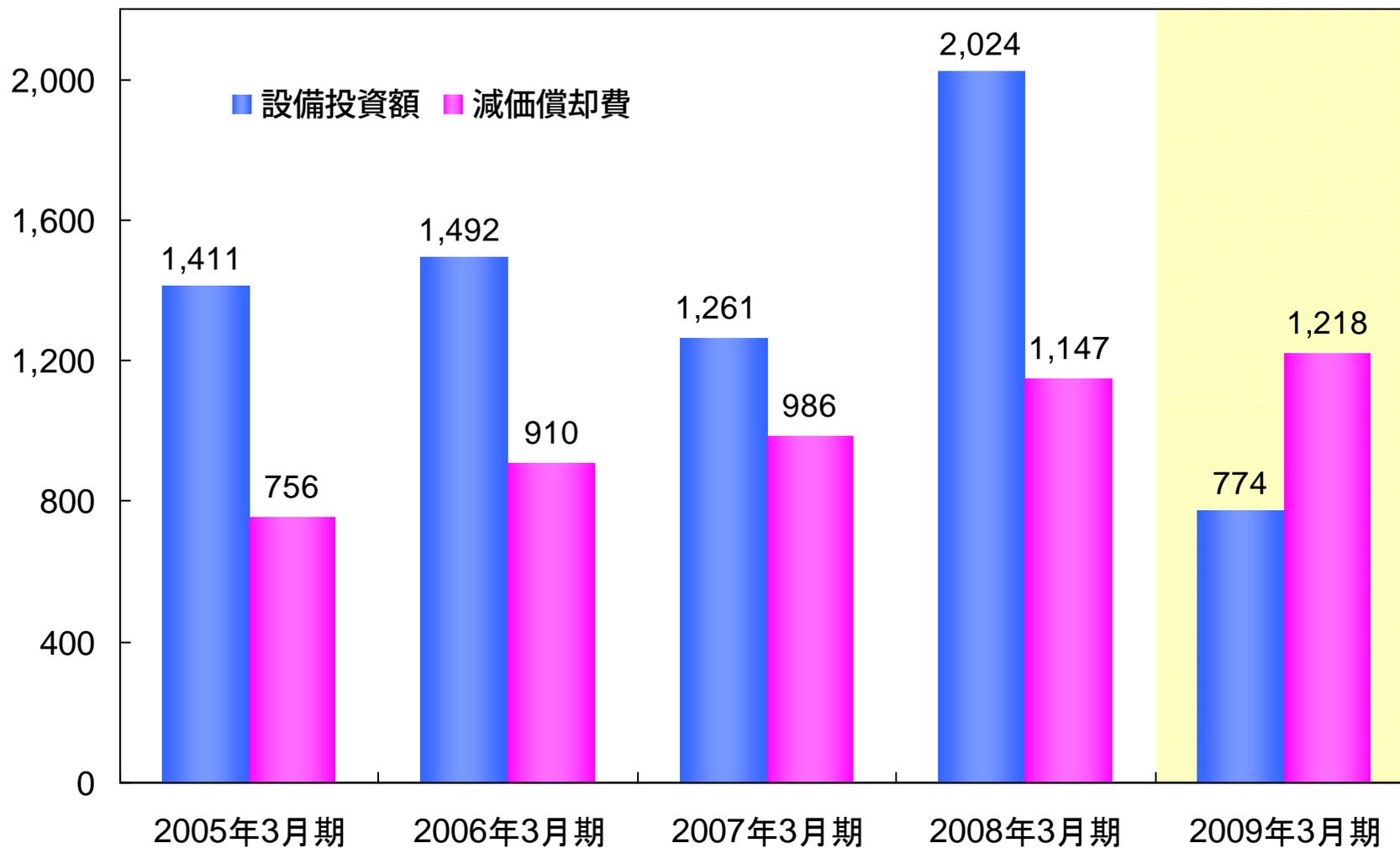




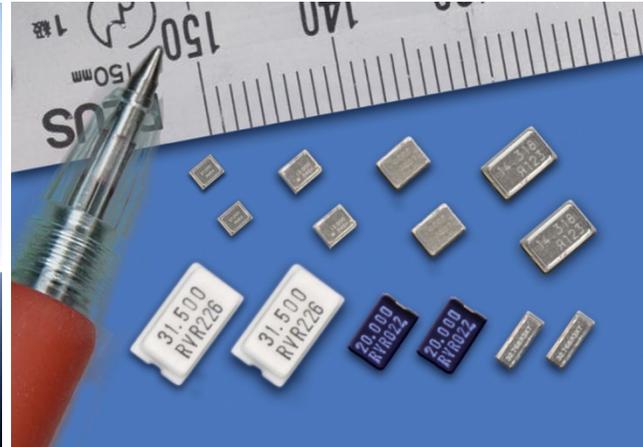
(百万円)	2008年3月期	2009年3月期	増減額	増減要因
流動資産	5,185	4,503	▲681	現預金+726、売上債権-1,331
固定資産	7,289	6,367	▲921	建物構築物-200、機械装置-321、 建設仮勘定-232
資産合計	12,474	10,871	▲1,603	
流動負債	3,113	2,206	▲906	短期借入金+259、仕入債務-456、 賞与引当金-230、設備支手-146
固定負債	675	1,864	1,189	長期借入金+1,184
負債合計	3,788	4,070	282	
純資産合計	8,685	6,800	▲1,885	利益剰余金-1,530
負債、純資産合計	12,474	10,871	▲1,603	



(百万円)



2010年3月期 通期業績予想



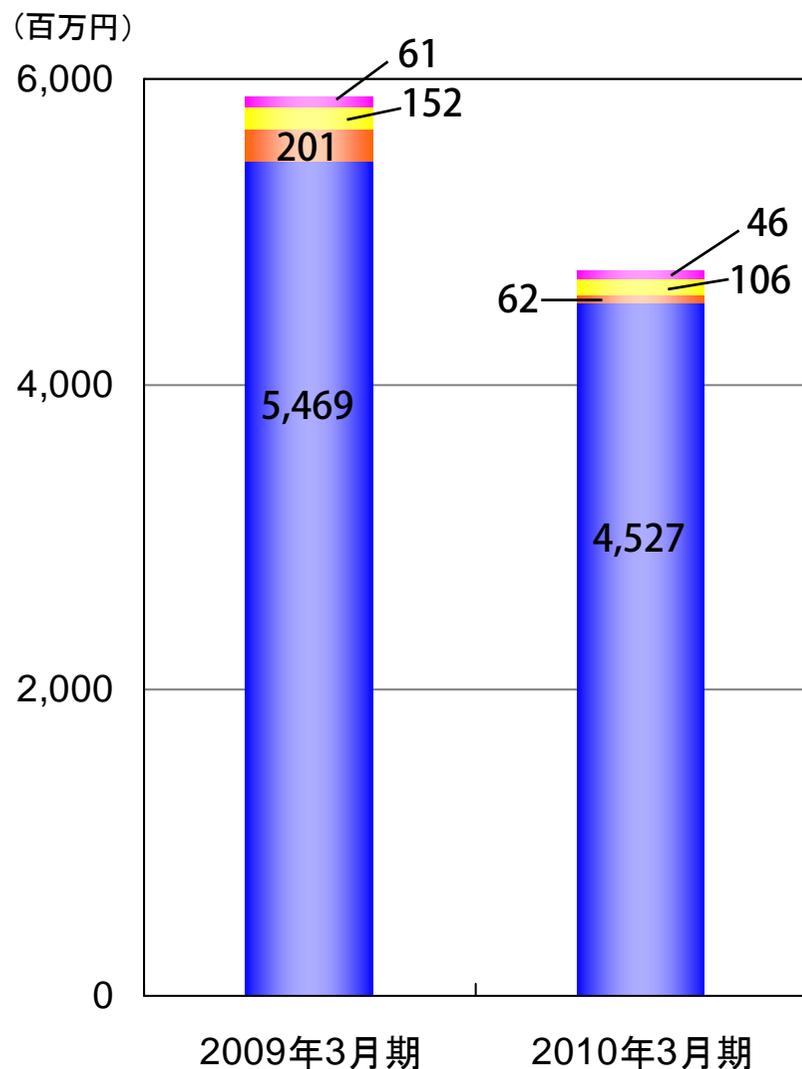
(単位：百万円)

	前年実績		2010年3月期 通期業績予想			
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期 増減額	前年同期 増減比
売上高	5,884	100.0%	4,743	100.0%	▲1,141	▲19.4%
売上総利益 (損失)	577	9.8%	▲245	▲5.2%	▲823	—
営業損失	▲795	▲13.5%	▲1,498	▲31.6%	▲703	—
経常損失	▲794	▲13.5%	▲1,531	▲32.3%	▲736	—
当期純損失	▲1,425	▲24.2%	▲1,708	▲36.0%	▲282	—
E P S	▲190.67円		▲231.75円		—	—

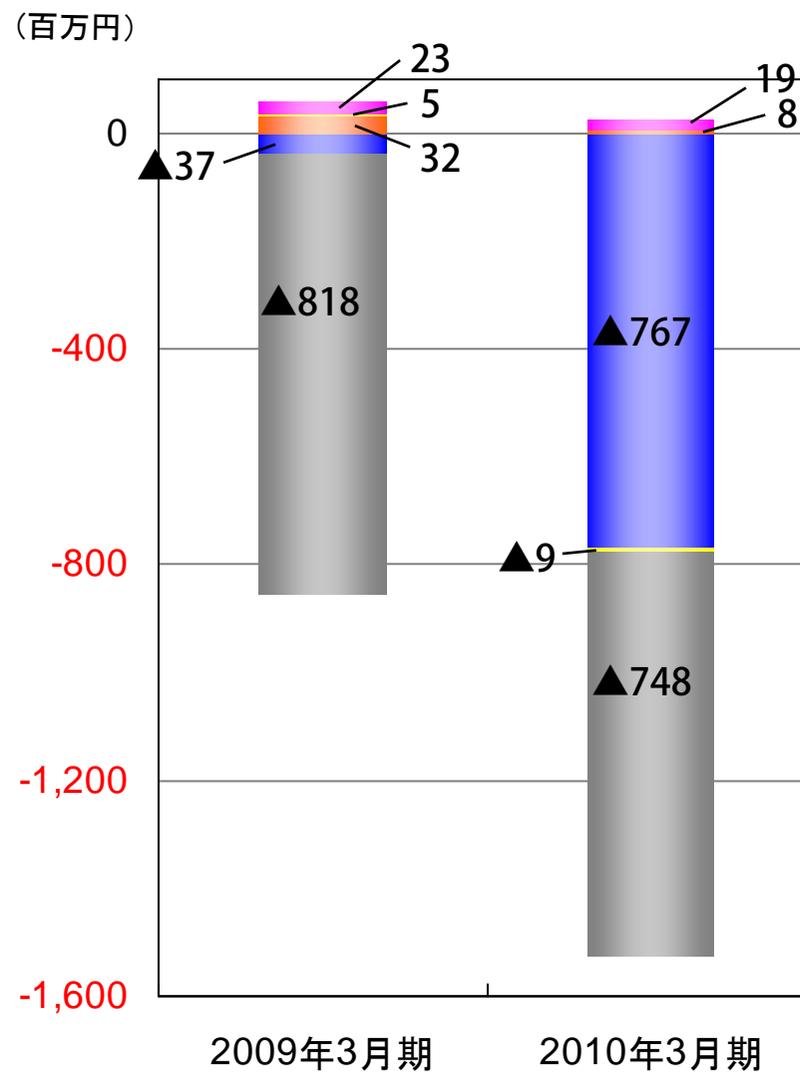
2010年3月期計画為替レート 1ドル=90円

■ 水晶製品 ■ 抵抗器 ■ インダクタ ■ その他 ■ 消去・全社

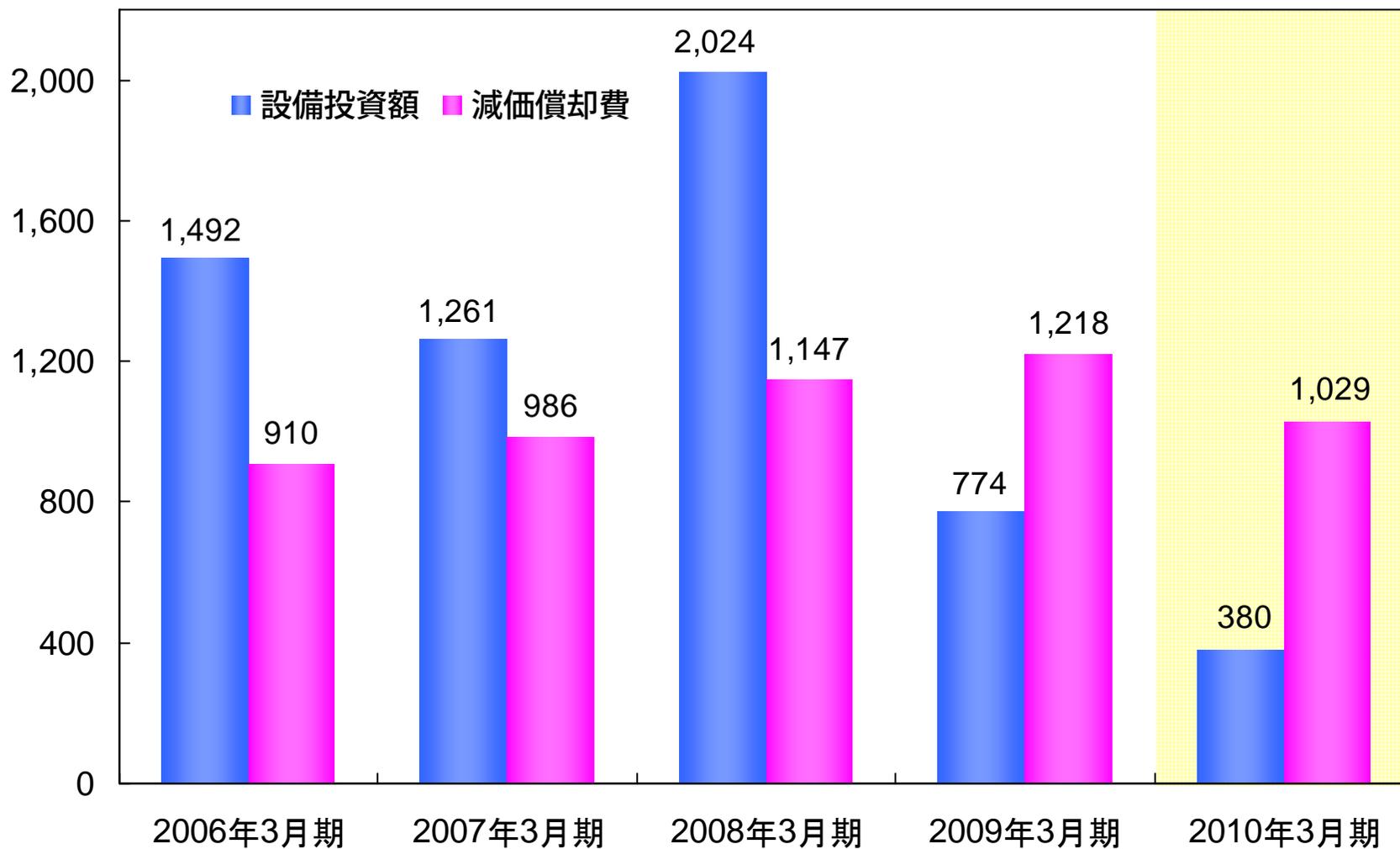
売上高



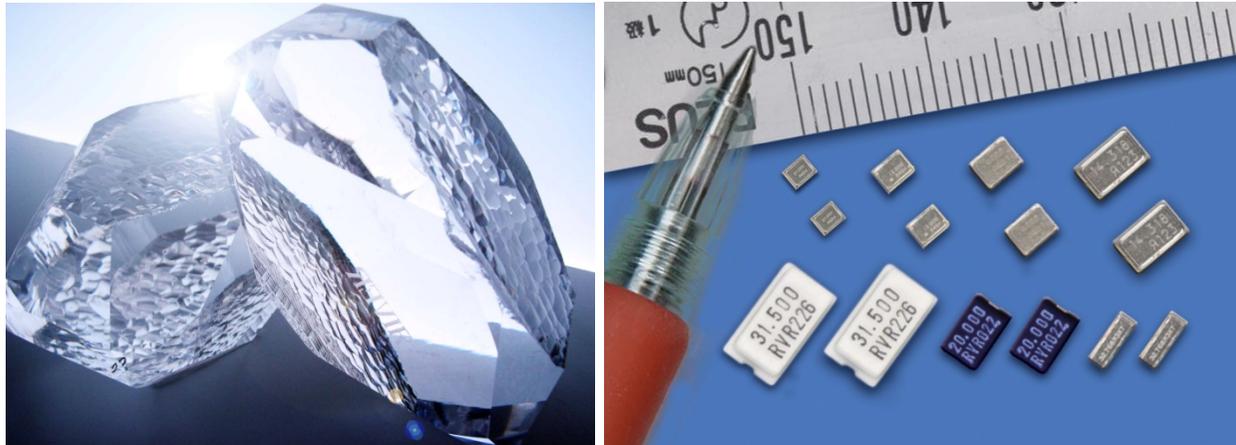
営業利益



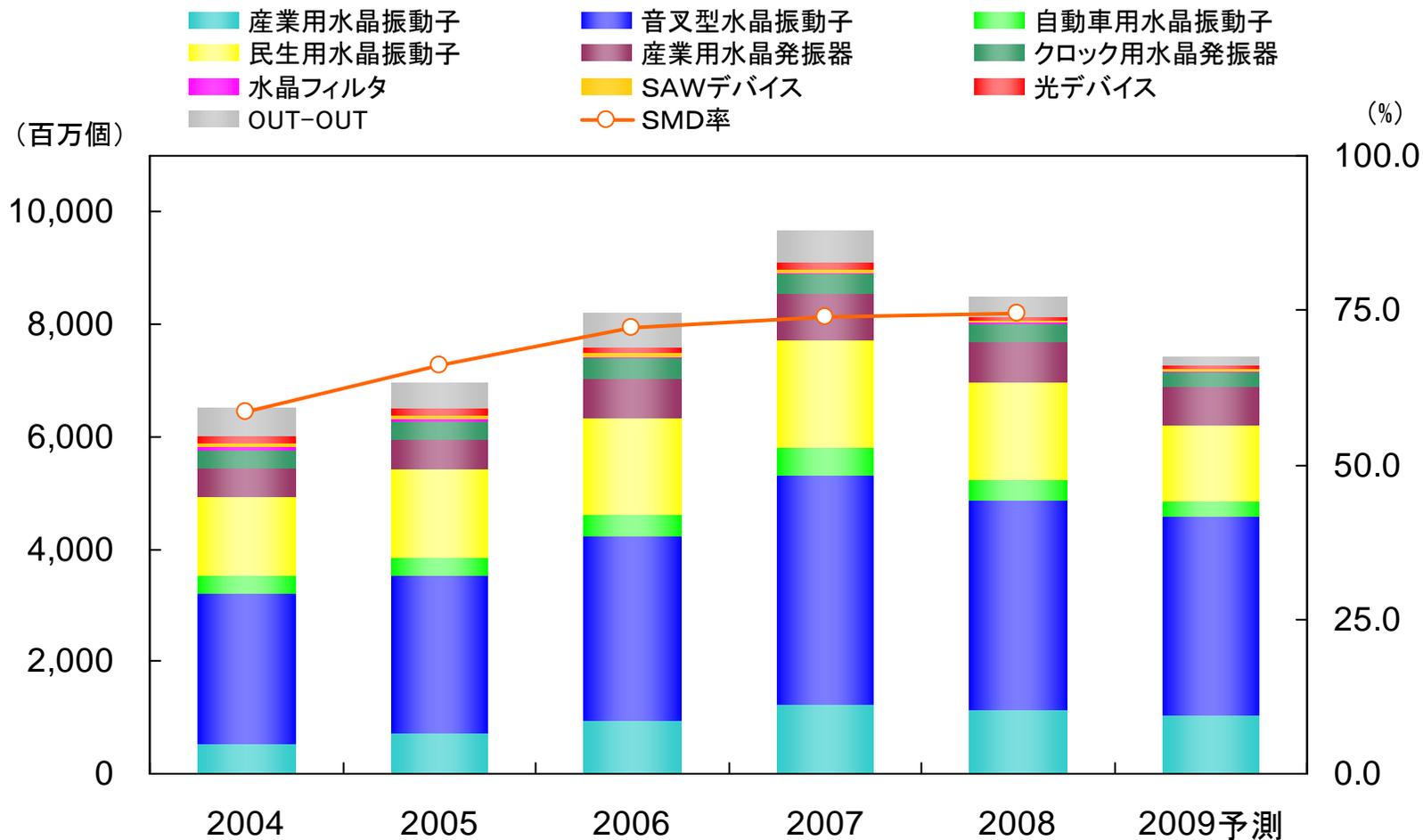
(百万円)



通期業績予想の背景及び取組み方針

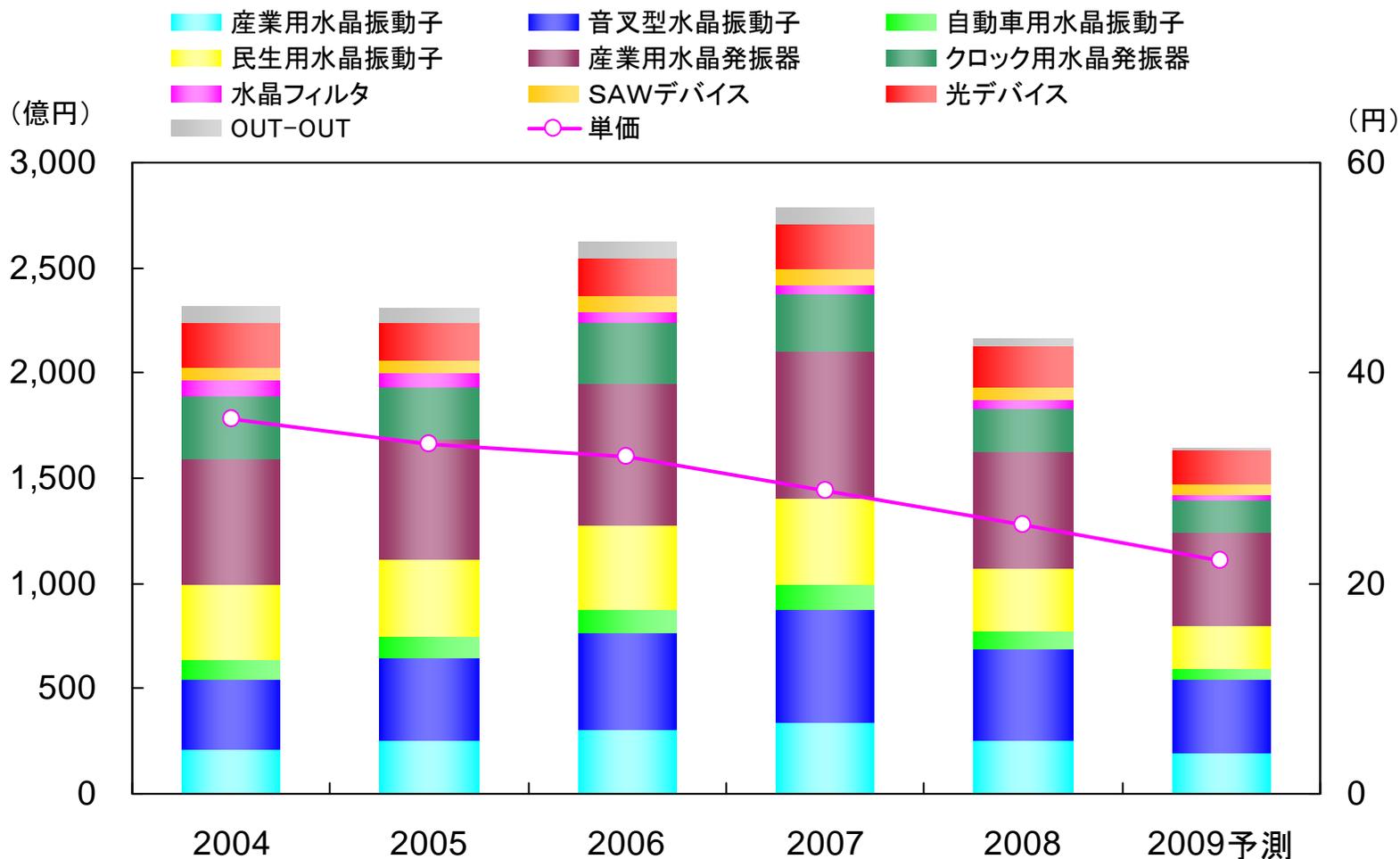


2009年度予測74億個（前期比87.8%）



(出所) 日本水晶デバイス工業会資料より

2009年度予測生産金額1,648億円(前期比76.2%)
単価は前期比86.8%



現在

青森リバーテクノ

〈水晶製品・インダクタの生産〉



リバーエレクトロニクスイポー (マレーシア)

〈抵抗器・インダクタの生産〉



音叉を含めた超小型製品の
生産集約

小型水晶製品の生産を海外へ展開

今後

工場の統合も視野に入れた
スリム化・効率化

コスト競争力の強化

超小型
音叉型
水晶振動子

主に時計機能に使われる音叉水晶振動子
同じアプリでもATカットとは使用用途が違う



小型市場へ本格的参入し、新規開拓で新たな成長を図る

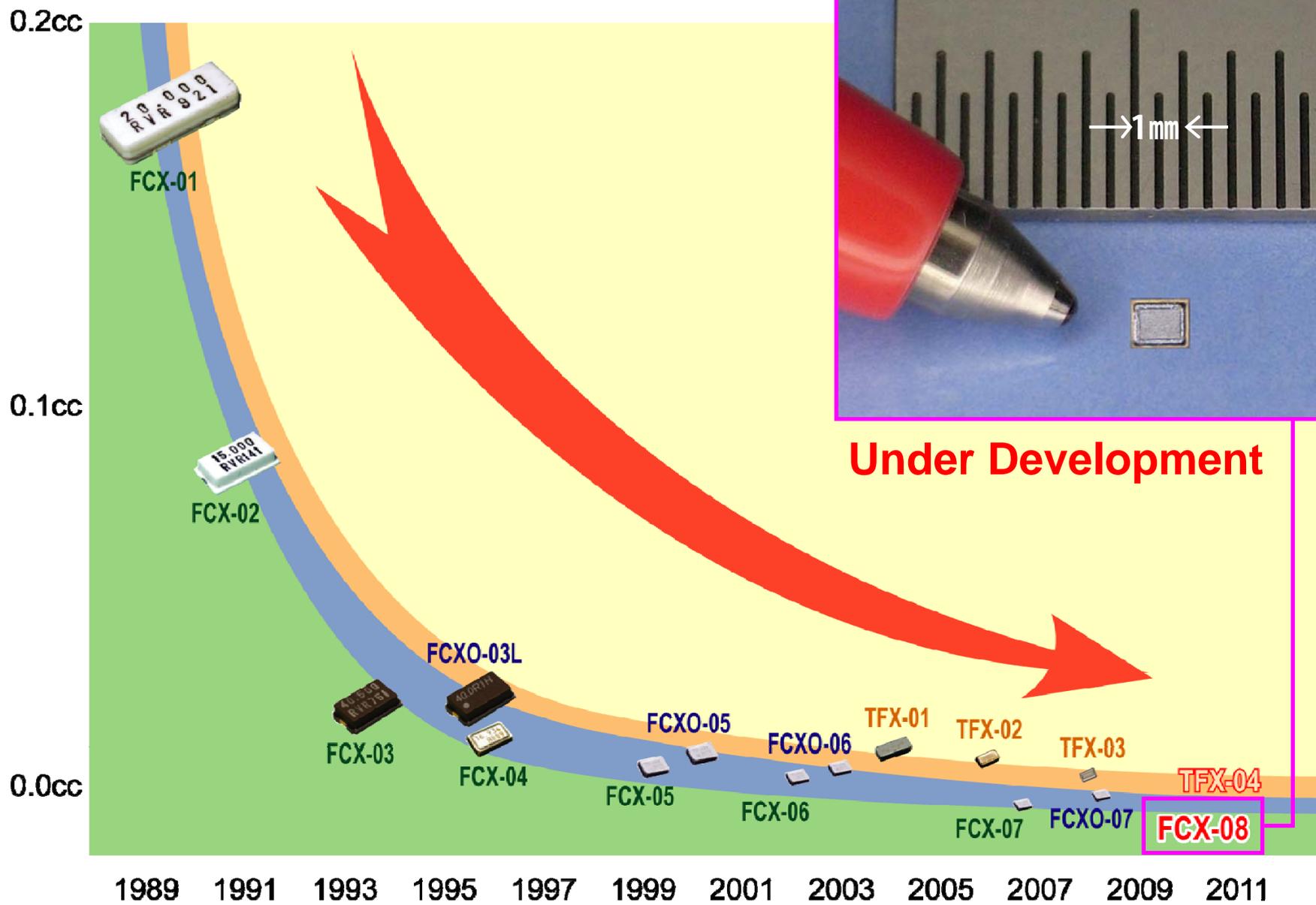
新たな成長ドライバー



携帯電話市場の落ち込み等により、超小型水晶製品市場が変調

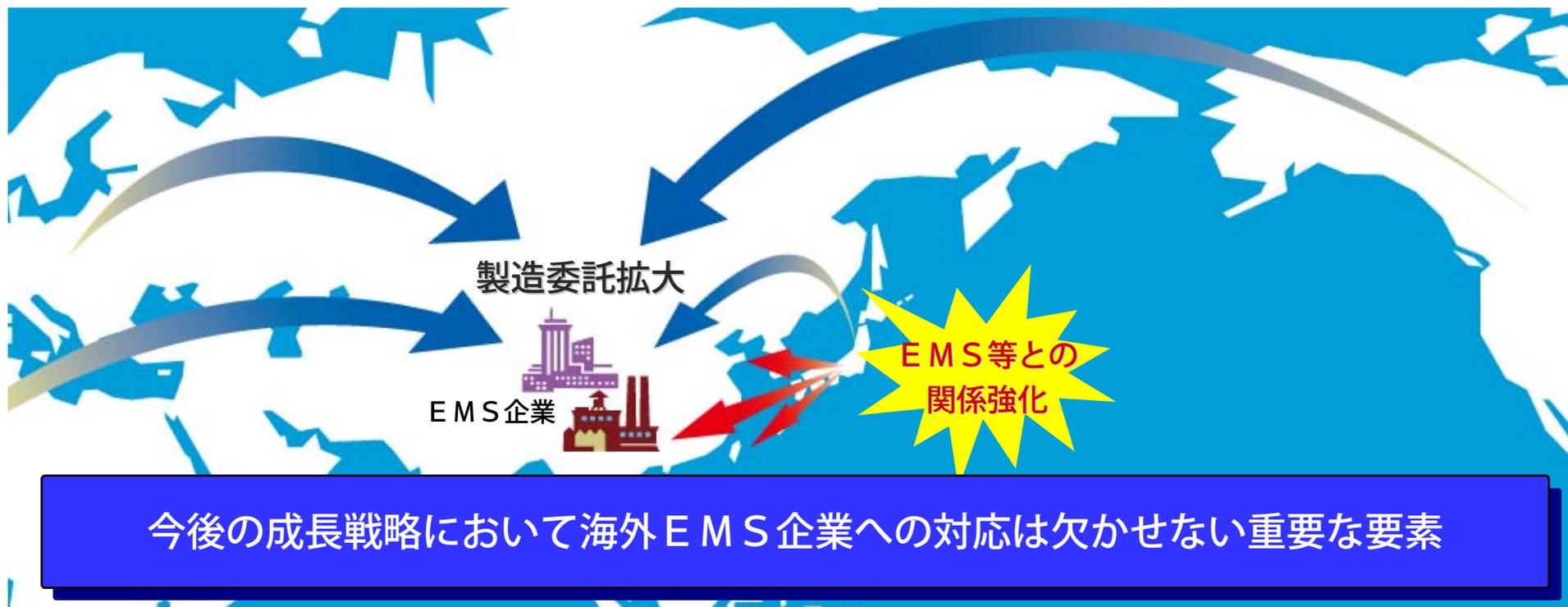
更なる小型化で他社を先駆け、市場優位性を確保する

超小型
ATカット
水晶振動子



◆ 最先端モバイル機器にも国内製造空洞化の波

- ◇ 大手電気機器メーカーによる海外EMS企業への業務委託拡大
- ◇ 中国および韓国において小型製品需要が拡大



海外子会社の販売体制の強化

海外販売に強みを持つ商社との連携

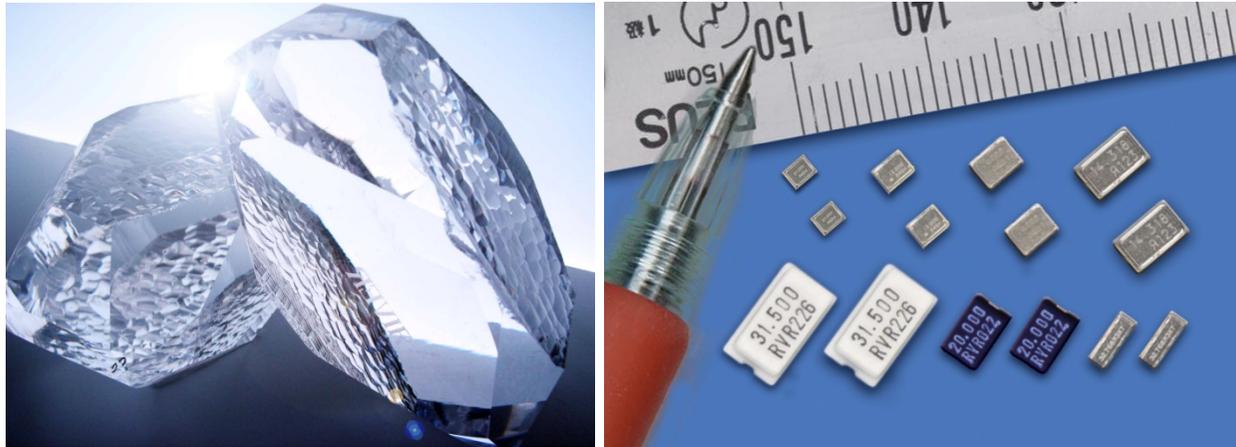
◆ 2009年3月度に引き続き経費削減に取り組んでいく

◇ 前年度比約7%の削減を目指す

	2009年3月期	2010年3月期
固定費	14%削減	10%削減
うち人件費	20%削減	17%削減
うち減価償却費	6%増加	15%削減

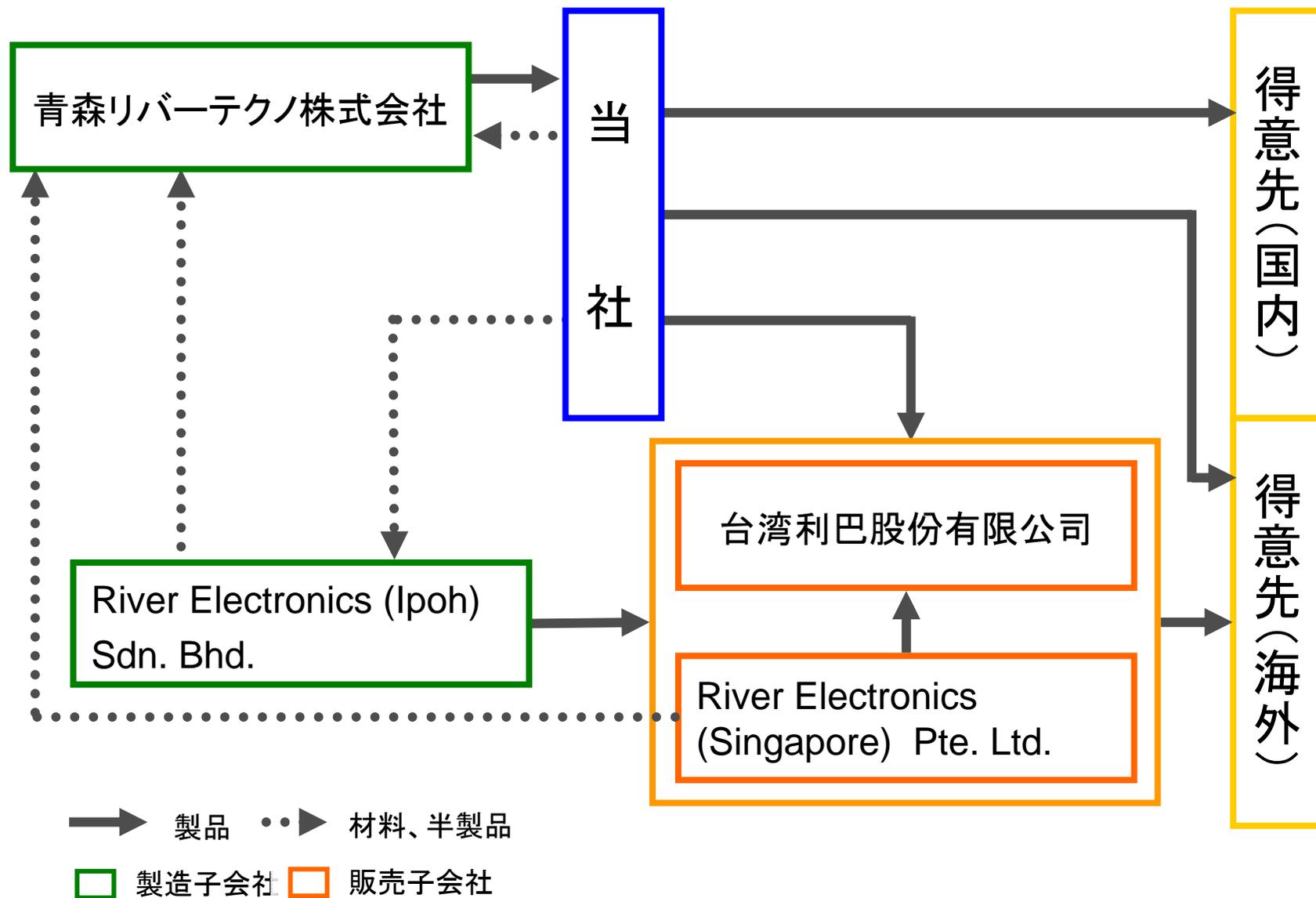
(ご参考)

会社概要・事業の特徴



- 社名：リバーエレクトック株式会社
- 所在地：山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1-11
- 設立：1951年3月9日
- 事業内容：電子部品の製造販売
- 資本金：1,070百万円
- 単元株式数：100株
- 売上高：5,884百万円／5,492百万円 (連／単、2009年3月期)
- 営業損失：795百万円／32百万円 (連／単、2009年3月期)
- 社員：368 (306) 人／111人 (連／単、() は契約社員等)
- グループ会社：青森リバーテクノ株式会社
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.
台湾利巴股份有限公司



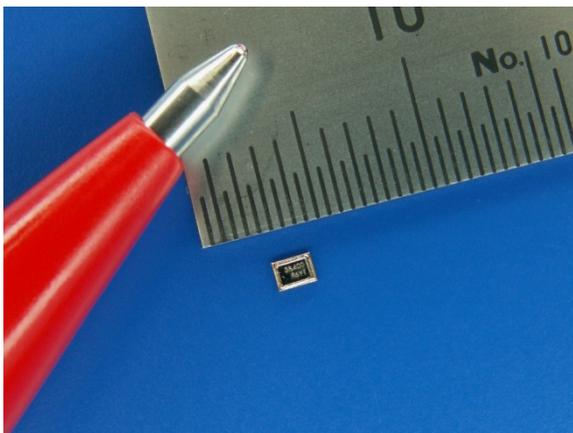


当社グループは水晶振動子と水晶発振器に製品を絞り込んでいる



※ は当社グループで製造・販売をしている水晶デバイス

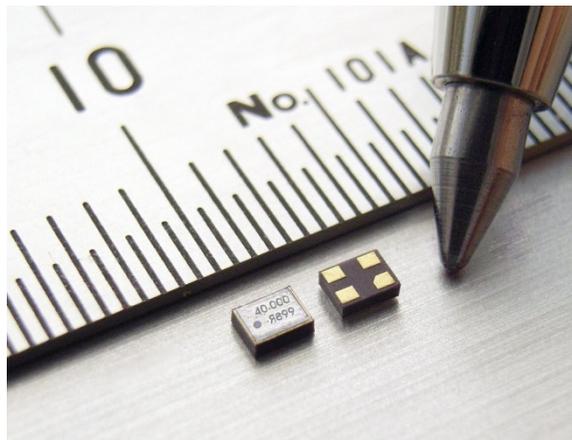
※ SMD: Surface Mount Device



世界最小
水晶振動子

FCX-07L

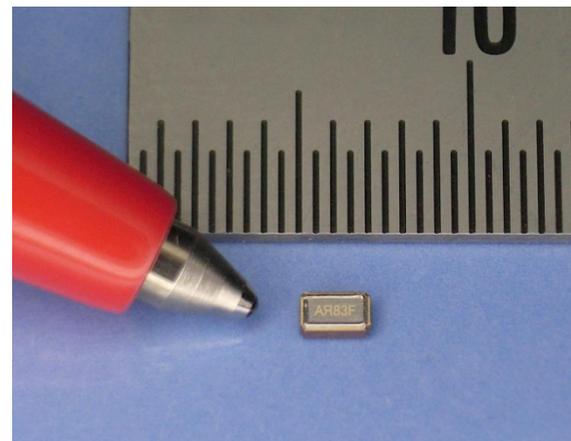
(1.6×1.2×0.35mm Max.)



世界最小
水晶発振器

FCXO-07

(1.6×1.2×0.7mm Max.)



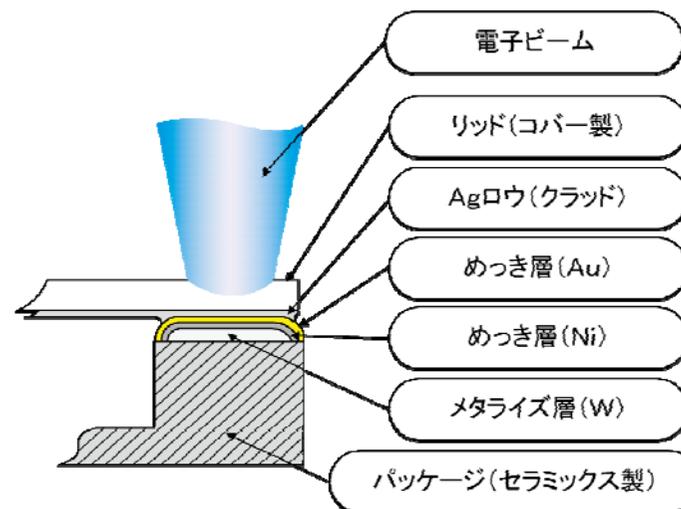
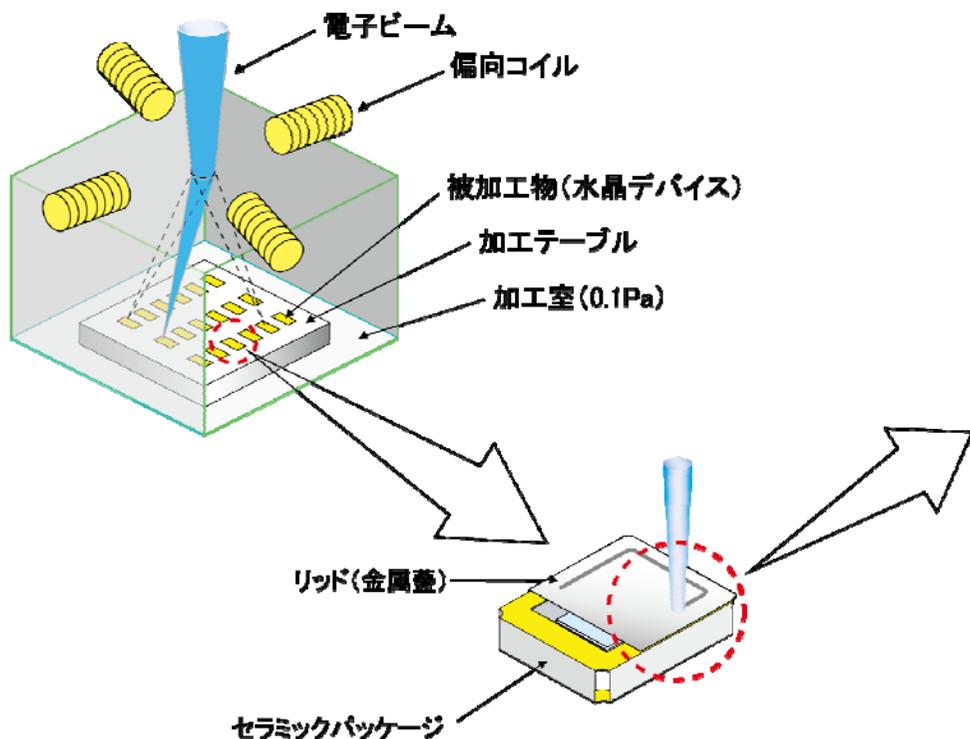
世界最小
音叉型水晶振動子

TFX-03

(2.0×1.2×0.6mm Max.)

**電子ビーム封止工法等の独自技術を生かし、
超小型分野へ先行開発・先行投入**

セラミックパッケージのなかに水晶片を取り付けた後、金属蓋を電子ビームで溶融接合する気密封止工法。従来からある一般的な封止工法よりも製品の小型化が可能となっている。また、局所加熱による水晶片への熱ダメージの抑制、真空封止による信頼性等優れた点が多く、低コスト化も実現している。



《注意事項》

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。



リバーエレテック株式会社
(JASDAQ、証券コード6666)
<http://www.river-ele.co.jp/>
総務部経営企画課
TEL 0551 (20) 1277